

各位

全2ページ
登録速報(2024-058)
2024年 2月14日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部 普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2024年2月14日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第24415号

名称：キタシーブフロアブル（北海道限定）

2. 変更の内容

農薬登録申請書第6項中、以下を変更する。

- ・作物名「小麦」の使用時期を「は種後～小麦3葉期（雑草発生前～発生始期）」に変更する。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジフルフェニカンを含む農薬の総使用回数	ピロキサルホンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
小麦	一年生雑草	は種後～小麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	80～100mL/10a	100L/10a	1回	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	1回	1回

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第7項中5)を以下のとおり変更し、別紙【変更後】のとおりとする。

- 5) 土壌残効が長いので、秋播栽培で使用する場合は、年内中に散布を終えること。

別紙

7. 農薬の使用上の注意事項

【変更後】

- 1) 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
- 2) 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用すること。また、希釈の際は所定量の水に加えてから十分攪拌すること。
- 3) 雑草の発生前から発生始期まで有効なので、時期を失ないように散布すること。
- 4) 砂土では使用しないこと。
- 5) 土壌残効が長いので、**秋播栽培で使用する場合は、**年内中に散布を終えること。
- 6) 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、激しい降雨の予想される場合は使用をさけること。
- 7) 土壌が極端に乾燥している場合には除草効果が劣ることがあるので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用すること。
- 8) 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定量の範囲内で多めの薬量を散布すること。
- 9) 砂質で水はけのよい畑では薬害を生じるおそれがあるので、所定量の範囲内で少なめの薬量を散布すること。
- 10) 水田裏作の小麦に使用する場合、排水不良田等土壌が湿りすぎていると碎土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがあるので、過湿状態での使用はさけること。
- 11) 碎土や整地はていねいに行い、種子が露出しないよう覆土はできるだけ均一、覆土深を2~3cmとすること。
- 12) 本剤の使用により小麦の葉身に白化が見られことがあるが、その後出てくる葉には白化は認められず回復し、小麦の生育、収量には影響が認められていない。
- 13) 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にかからないように注意すること。特に風の強い時の使用はさけること。
- 14) 水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるため、散布した当年または翌年の栽培をさけること。
- 15) 散布に使った器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意すること。
- 16) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上